

新艦噸傍號

村井頼成摘譯

佛國砲兵新誌ノ報スル所ニ依レハ新艦噸傍號ノ構造及兵備ハ左ノ如シ

噸傍號ハ日本政府ノ注文ニ由リ地中海鍛鉄造船會社ノ製造セ
ル所ニシテ本年四月六日ニ其進水式ヲ行ヒタリ

噸傍號ハ甲鉄甲板ヲ有シ浮游線ニ於テ防水區室ヲ設ケタル巡
洋艦ナリ甲鉄甲板ハ龜甲形ヲ爲シ舳ヨリ艦ニ達ス甲鉄甲板ノ上
方ハ厚^{5^m}ニノ互ニ^{45^{cm}}ノ間隔ヲ有スルニ枚ノ鋼板ヨリ成ル隔壁ヲ以
テ57個ノ防水區室ニ分ツ各鋼板間ハ栓材ヲ以テ填實ス諸器械及
漁罐ノ上方ニアル區室ハ悉ク煤炭庫ト爲シ其他ノ區室ハ水雷庫
及雜品庫ニ充ツ而シテ鋼板隔壁中ニモ所々隔障ヲ設ケ40個ノ獨

立區室ニ分テリ故ニ甲鉄甲板ノ上方ハ大小各異ノ97防水區室ヲ成形セリ此結構ノ目的ハ浮游線下ニ於テ艦体ニ的中シタル彈丸ノ被害ヲカテ減小スルニ在リ夫レ然リ故ニ防水區室ノ大數ニ海潮充満スルニ非サレハ船艦ハ戰ニ耐ヘサルニ至ラサルモノトス

甲板ノ甲鉄ハ50^{mm}ノ鋼鉄ト10^{mm}ノ鉄板ニ枚ヨリ成リ螺釘ヲ以テ之ヲ結合ス

敵傍號ノ砲兵ハ左ノ如シ

二十四瓓米「グループ」砲四門 砲壇數半圓郭内ニ在リ其水平射扇形ハ170[°]トス

十五瓓米砲「グループ」七門 船樓上ニ在リ砲壇ヨリ射撃ス但内一

四百七十二

門ハ舳樓ニ在リテ艦舳ノ方向ニ射撃ス

右ノ諸砲ハ渾テ「ヴヴソール、カ子」式砲架ニ載ス

其他神速射撃ノ六斤「ノルデンフェルト」砲二門、口徑^{25mm}ノ四

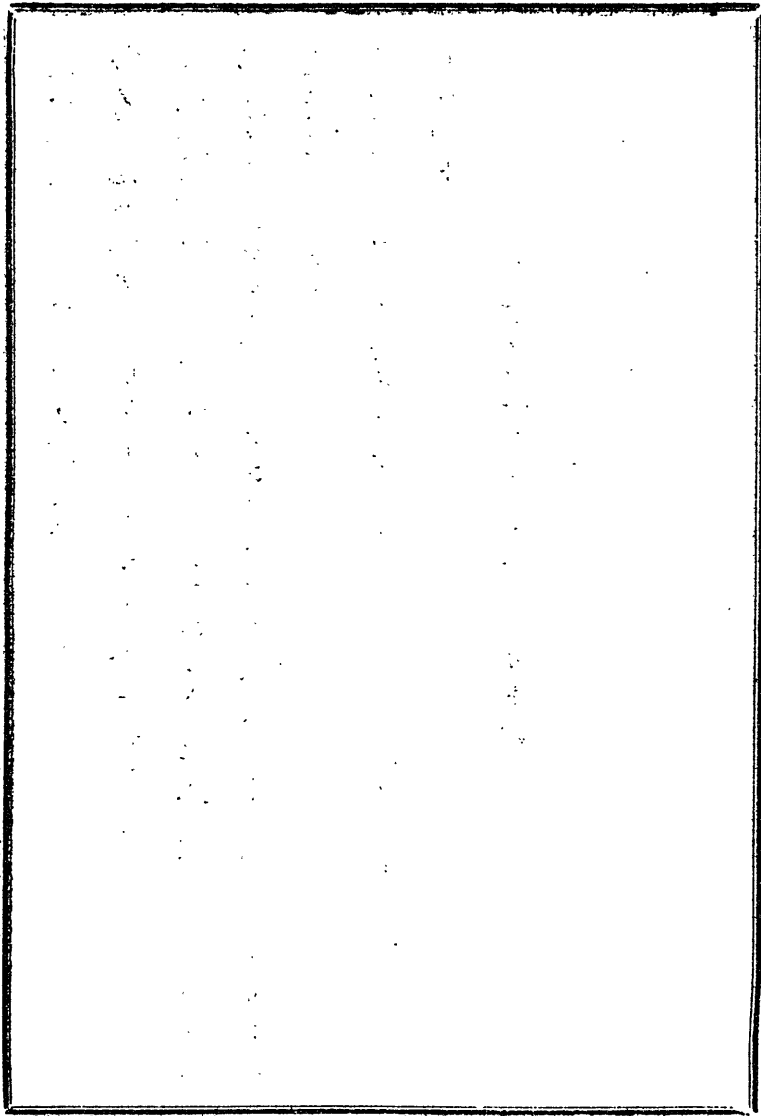
砲身ヲ連合シタル「ノルデンフェルト」霰發砲十門、「ガトリング」

霰發砲四門アリ

自動水雷射放ノ爲メ「カ子」式水雷射筒四個アリ其水平射扇

形ハ70°トス

補註同艦ノ速カハ一八ノット「余ナリト云フ



田
所
十
四

石井 隼太

佛蘭西獨乙等ニテハ分列式ノ兵乗馬本分ノ者抑揚乘リ方一名
 英式乘リ方ヲ爲スハ嚴禁スルトコロナリト云フ抑モ分列式ナル
 者ハ其國軍隊ノ熟否ヲ評スルノ一斑トモ爲リ多少外國人等ノ手
 前モアルト故歐洲諸國ニテ右ノ乘リ方ヲ嚴禁スルノ理由果ノ正
 當ナルトセハ我國ニテモ此事ニ改メテラレタキモノナリ
 或ル外國軍人ノ諾ニ日本ノ分列式ニ臨ミ左ノ諸件ニ注目シタリ
 ト
 將校綑ノ禮式區々ニシテ一定ナラス
 乗馬隊急速ノ騁度ニテ分列スルニ當リ騁法一齊ナラス故ニ早騁
 ノ分列式カ騁ノ分列式カ之ヲ判別スルニ苦メリ

徒歩隊ニテヌカリヲ避ケツ、行進スルハ被敬禮者ニ對シ不敬千
万ナルノミナラス爲ニ隊伍亂レ恰モ散開密集ノ兩隊次ヲ同時ニ
用フルカノ思ヲ爲セリ

己上ノ説タル蓋シ外人ノ一嚙語ニ過キス我輩諸君ト共ニ大ニ
其不禮ヲ憤ルナリ何ントナレハ必ス實際ニ此不都合ナキヲ信
スレハナリ然レモ他山ノ石以テ玉ヲ磨クヘシ亦一概ニ抹殺スヘ
カラサルモノアリ若シ万ニ一モ此説ヲ起スノ理由アリタリトセ
ハ深ク猛省セサルヘカラサルナリ

本會雜誌第十五号ニ兵語ノ一定ヲ望ムトノ寄書アリ其一般ノ論
旨ハ我輩ノ頗ル感ヲ同フスル所ナリ唯憾ラクハ其引例ニ於テ聊
カ更ノ總當ナラサルカ如キモノアリ乞フ左ニ之ヲ辯セン

寄書中前哨配備ト云フモ陣地ノ占領ト云フモ其實ニ至テハ等ク
是レ防禦ナリ故ニ配備ヲ前哨配備ト戰鬪配備トノ二種トシ第一
線ヲ常ニ哨兵ト稱シ云々ト蓋シ此說ハ普通前哨ノ定義ニ由ラス
前哨四種中ノ一ナル戰鬪前哨ノ形跡ニ就テ論シ起セシナルヘシ
今若シ前哨配備及ヒ陣地占領ノ二者普通ノ定義ニ因レハ其相
等カラサルノ理アルヲ左ノ如シ

第一前哨配備ハ本隊ノ安全ヲ計ルヲ目的トス敵襲ニ際セハ一
時之ヲ防支スルモ防禦ハ其本然ノ任務ニ非ス唯本隊ヲシテ其

戰備ヲ整フルノ猶豫ヲ得セシメンカダメフミ
第二 陣地ノ占領ニ於テハ本隊躬ラ此陣地ニ據テ交戦スルヲ
目的トナス陣地ヲ占領スルニハ概テ前哨ヲ配備スト雖氏固ト
是レ補助ノ一術トナスモノニシテ之ヲ以テ陣地ヲ防守スルノ趣
旨ニ非ルナリ

是ニ依テ之ヲ觀レハ二者ノ任務ト目的トハ全ク相異ナルヲ以テ
之ヲ同一視ス可ラサルヲ明カナリ故ニ戦閉配備ニ於テハ前哨配
備ニ於ルカ如ク第一線ヲ哨兵ト稱スルヲ能ハサルヘシ
吾邦ノ地形ハ一帯ニ狹隘ノ夥多ナルヨリ陣地ハ概テ之ニ接スル
ト又從來騎兵ヲ用フルヲ甚タ稀レナリシトニ因リ勢ヒ歩哨ヲ陣
地ノ邊緣ニ配置シ此線ヲ以テ直ニ戦閉線ト爲スヘキノ場合甚タ

多キカ故ニ動モスレハ此兩線ハ必ス相混同スヘキモノト誤信シ
 爲メニ障地ヲ占領スルニ臨ミ先ツ哨兵線ヲ定メ本隊ヲシテ必ス
 此線ニ至テ戰ハシメントスル者アリ夫レ哨兵線ハ展眸ノ便ナル
 ヲ尚ヒ戰鬪線ハ交戰ニ利アルヲ良シトス然ルヲ地形ハ常ニ此兩
 要ヲ兼子得ヘキモノニ非ルヲ以テ此誤信ヨリ生スル弊害ハ時ニ
 或ハ大ナルヲアルヘシ

寄書ノ意ハ蓋シ專ラ煩ヲ去リ簡ニ就クノ一点ニ在リテ更ノ異同ヲ
 論スルノ趣旨ニ非ルヘシト雖モ既ニ前述ノ如キ誤信ノ原因アリ
 加フルニ尚ホ戰鬪配備ニ於ルモ常ニ第一線ヲ哨兵ト稱セントスル
 カ如キ説ヲ看ルニ至ラハ此誤信ハ倍々其根ヲ深フセンカ是レ我
 輩カ深ク恐ル所ニシテ寄書ヲ駁撃スルノ端ヒアルヲ顧ミス敢テ

爰ニ喋々スル所以ナリ

四百八十

2366

印度兵制一斑

陸軍歩兵大尉福島安正

巡回地方ノ大略

兵事ニ關スル要領ヲ陳述スルニ先チ經過セシ地方ノ大略ヲ述ヘ
以テ一概ノ形勢ヲ推考スルノ一助トセン

叔テ小生ノ命ヲ奉シテ印度ニ向ヒ横濱ヲ解纜セシハ明治十九年
三月廿七日ニシテ先ツ神戸ニ寄港シ三十日ノ黄昏右舷ニ薩摩ノ
海門嶽ヲ望ミ四月二日ニ臺灣峽ヲ經過シ三日午前九時香港ニ到
着セリ

香港ハ一千八百四十一年英國ノ所領ニ歸セシ所ニシテ廣東ノ江
口ヲ扼シ英國カ東洋ニ對スルノ要衝トス人口大約十六萬ニシテ

四百八十一

里程ハ都
テ英里ナ

東洋艦隊ノ本部ヲ置キ別ニ英軍歩兵一大隊砲兵二中隊ヲ屯ス
六日正午十二時香港ヲ拔錨シテ八日朝来右舷ニ安南平和ノ地方
ヲ望ミ九日午前七時柴昆河ヲ溯テ柴昆ニ到着セリ
柴昆ハ法領交趾ノ首府ニシテ總督ノ治處タリ人口大約五萬トス
十日午前五時四十五分拔錨午後五時右舷ニソロコンドル島ヲ望
ミ十一日終日一物ヲ見ス十二日午前七時シンガポールニ到着セ
リ是ヨリ緬甸ヲ經テ印度ニ赴クノ目的ナルヲ以テ上陸シテ旅宿
ニ授シ便船ヲ待チタリ
シンガポールハ摩刺加半島ノ南端ニ星羅スル群島ノ一ニシテ長
サ大約二十七里廣サ十四里ニ過スト雖其地位タル實ニ東洋ノ
門戸ニシテ毎年數千ノ船舶必由ノ所トス故ニ英國政府此ニ海峽

所領ノ首府ヲ置キ總督ヲ駐シ英軍歩兵一大隊砲兵二中隊ヲ屯ス
現今港西ノ海門ニ砲臺ヲ新築中ナリ

十八日英領印度瀛船會社ノ瀛船ニ搭シテ解纜シ二十日午後ペー
ナンニ寄港セリ

ペーナンハシンガポールヲ隔ル三百九十五海里ニシテ摩刺加半
嶋ノ西岸ニ位スル一小嶋ナリト雖氏東洋梯航ノ良港ニシテ東印
度商會ノ時ヨリ既ニ此地ヲ有セリ人口大約九萬アリシンガポ
ルノ分遣兵二中隊ヲ屯ス

此日午後直ニ解纜シテ廿三日夜ムルメーンノ河口ニ投錨シ廿四
日朝拔錨針路ヲ正西ニ轉シテラングーンノ河口ニ至リ河流ヲ溯
ル二十七海里ニシテラングーンニ到着セリラングーン (Rangoon)

ハ英領下部緬甸ノ首府ニシテ人口十八萬イラワデー河ノ支流ラ
ングーニ河ニ濱シ水路交通ノ便ニ富ミ緬甸方面ノ策源タリ故ニ
師團本部輜重廠等ヲ置キ英軍歩兵一大隊馬德拉歩兵一聯隊
砲兵一中隊及ヒ工兵一中隊ヲ屯ス

緬甸ハ一千七百五十四年以來軍勢大ニ振ヒ漸ク四隣ヲ併呑シ一
千八百十八年竟ニ印度東北部ノアツサム州ヲ攻略シ南部亞細亞
ノ強國ト稱セリ然レ此強國ハ亞細亞ノ強國ニシテ未タ天下ノ強
國ニ對スルヲ得ス且ツ世ノ大勢ハ緬甸ノ進歩ヲ待タサルヲ以テ
一千八百二十六年英國トノ第一役ニ於テマラカン、テナセリム、ア
ツサム、カチヤル、マニプールノ五州ヲ失ヒ一千八百五十二年英國
トノ第二役ニ於テ又ヘグーノ一州ヲ失フテ海岸ヲ遮斷セラレ一

千八百八十五年英國トノ第三役ニ於テ竟ニ全國滅亡シテ本年一月一日其古都マングレトニ於テ英國ノ所領ニ歸スル旨ヲ公告セリ

ラングーンヨリマングレトノ間水路四百四十六里ニシテ每週二次漁船ノ往復アリ又マングレトヨリバーモトノ間ニ毎月二次漁船ノ往復アリテ緬甸内部ノ物産ラングーンニ輻輳セリ加ルニ近年ノ新築ニ係ル鐵道ニ線アリ一ハイラワア―河ノ左岸プロムニ達シ一ハシッタン河溪ノトシグニ達ス共ニ大約百七十里トス聞クトングノ線路ヲ延伸シテマングレトヨリバーモトヲ貫キ更ニ西北ニ接シテアワサム州ノデアブルガトニ達シ印度鐵道ノ計畫線ニ連絡シ又一ハ暹羅ノ西境ニ入りシムメタヲ經テ雲南省普洱府思

茅廳ノ國境ニ至リ又一ハジムメノ線ヨリ南伸シテバンコックニ
達セントスルノ計畫アリト此計畫ニシテ果シテ目的ヲ達スルニ
至レハ獨リ緬甸内地ノ物産ノミナラス又雲南貴州四川等ノ貨物
ラングーンニ輻輳シ西南ニ一ノ上海ヲ見ルニ至ルヘシ又中央亞
細亞ニ於テ英魯ノ鐵道カ聯絡スルノ日ハ蓋シ緬甸鐵道落成ノ以
前ニアルヘキヲ以テ鐵道ヲ以テ東西洋ヲ聯絡スルモ將ニ數年ヲ
出サラントス實ニ利害ノ係ル所獨リ通商ノ一點ニ止ラサルナリ
廿六日午前十時拔錨子グレー角ヲ北折シテ廿八日サンドウエー
ノ港口ニ投錨シ更ニカイキウ、アキヤブニ寄港シテ五月一日午前
八時滿潮ニ乘シテクルナフリー河ヲ溯ルル十二海里ニシテチタ
ゴンニ到着シ此夜ハ此ニ碇泊セリサンドウエー、カイキウ、アキヤ

ブハアラカン州四縣ノ内ニシテカイキウハ又州治ノ所トスアラ
 カン州ハ一千八百二十六年英國ノ所領ニ歸セシ所ニシテ面積一
 萬四千五百二十六方里、三千五百二十九村落ノ人口五十八萬七千
 五百餘人トス西南季風ノ時節ハ航海甚々險難ナリト云フチタゴ
 ンハベンガラ省チタゴン州治ノ地ニシテ人口大約二萬一千トス
 一千八百四十年來大ニ茶園ヲ開墾セリ聞ク近ク鐵道ヲ築テカル
 カッタニ聯絡スルノ計畫アリト

二日午前八時チタゴンヲ解纜シテカルカッタニ向フ三日暴風激
 浪ノ中フリーグリー河口ノ燈台下ニ繫泊シテ天明ヲ待ツ此近海ハ
 ガンゼス及ヒアラハムプトラニ大河ノ河口ナルヲ以テ陸ヲ見スシ
 テ水先ツ泥色ヲ帯ヒ沙洲甚々多シ而シテ此暴風ハ季風變化ノ兆

候ニシテ一時間ノ風力二十五里ニ達セリ五日鷄鳴拔錨河流ヲ溯
 ル一八十六里ニシテ午后カルカッタニ到着セリシンガポールヲ出
 帆セシ以米通計十七日横濱ヲ解纜セシ以米通計三十九日トス
 シンガポールヨリカルカッタノ間緬甸沿岸ノ航路ニシテ英領印
 度漁船會社ノ調査ニ係ル者左ノ如シ

カルカッタ	Cacutta.	○
チタゴン	Chitagon.	三百七十六里
アキヤブ	Akiyah.	百九十里
カイキウ	Kyoukhyoo.	七十六里
サンドウ	Sandoway.	百十九里
バッセン	Bassain.	二百四十七里

四百八十八

四百八十九

ラングーン	Rangoon.	二百五十二里
ムルメイ	Moulmein.	百四十七里
タヴ	Tavoy.	二百七里
メルグイ	Mergui.	九十里
マルウン	Malwoon.	二百七十四里
コパー	Kopah.	八十五里
ジャンクセイロン	Junkseylon.	九十二里
ペーナ	Penan.	二百里
マラッカ	Malacca.	二百六十五里
シンガポール	Singapore.	百三十里
通計二千八百十九里		

カルカッタハ一千七百七十三年ヨリ定テ英領印度ノ首府トナセシ
所ニシテフーグリー河ノ左岸則チ東岸ニ濱シ海面ヲ抜ク7僅ニ
二十尺ニ過キス大小ノ船艦出入容易ニシテ帆橋沿岸十里ノ間ニ
林立シ水陸ノ交通最モ便利ナルヲ以テ毎年此地ニ輻輳スル所ノ
輸出入ノ價額實ニ莫大ニシテ平均英貨七千万磅則チ我三億五千
萬圓ニシテ印度全國輸出入品ノ半ハヲ占ルト云フ人口六拾八萬
四千餘人ニシテ之ニ對岸ホラーノ人口ヲ合スル時ハ七拾九萬餘
人トス港口ニ堡壘アリウイリヤム城ト名ク一千七百五十七年大約
一千萬圓ヲ費シテ建築セシ堅城トス城内アレシデンシー旅團ノ
本營アリテ十一營所ヲ管轄ス兵員總計五千八百七十四人大砲六
門ニシテ其内三千五百十人ヲ土軍トシ二千三百六十四人大砲六

門ヲ英軍トス氣候ハ五月四日正午十二時ニ華氏ノ寒温儀九十六度ニシテ此夜十一時ニ尚ホ八十八度ヲ示セリ當時印度太守以下諸官衙舉テシムラニ移リシヲ以テ八日午後九時三十分カルクタヲ發シラクナウ、デリー、アンバラヲ經テ十六日午後三時シムラニ到着セリ是ヲ横濱解纜ノ五十日目トス

ラクナウ (Lucknow) ハ一千八百五十六年マテアウデ王国ノ京城タリシ所ニシテ今英領印度西北省アウデ部ノ首府タリ人口ニ拾六万一千四百八十五人ニシテ印度第五ノ大都會トス此地ハ一千八百五十七年土兵ノ叛亂ヲ以テ最モ著名ナリアウデ (Oude) ハ面積二萬四千二百三十三方里人口一千百四拾萬七千六百二十五人ニシテ北ハ直ニネパール國ニ境シ内ハ人心慄悍ナルヲ以テ特ニ一師

團ヲ置キ四營所ニ部署ス英軍歩騎砲兵四千零四十五人大砲十八
門土軍歩騎兵三千零二十六人合計七千零七十一人トス
デリー(Delhi)ハ永クモゴール帝國ノ都ヲ置シ所ニシテ遺跡今尚
ホ痕籍タリ而シテ當時ノ皇城ハ令鎮台ノ本據ニシテ英軍歩兵四
中隊砲兵一中隊ヲ屯シ城外ニ土軍騎兵一中隊歩兵五中隊ヲ屯
ス人口拾七万三千餘人ニシテ印度第七ノ都府タリ一千八百七十七
年英國皇太子カ大ニ印度ノ諸侯ヲ會セシハ則チ此地トス
アムバラ(Umballa)ハパンジヤブ省中重鎮ノ一ニシテシムラニ通
スル本道ノ起ル所トス人口六万七千餘人アリシード師團ノ
本部ヲ置キ砲兵二中隊英軍騎兵一聯隊歩兵一大隊土軍騎兵二聯
隊砲兵一大隊ヲ屯ス而シテ此師團ノ總員ヲ舉レハ英軍五千百七

十九人大砲三十門土軍三千七十六人ニシテ十ヶ所ニ分屯スル者トス

シムラ (Simla) ハアムバラノ北九十六里ニシテ海面ヲ抜ク一七千
百四十尺氣候爽冷温帯ノ樹木鬱生シ印度政府夏季六ヶ月間移駐
スルノ所トス北方常ニ喜馬拉ノ雪線ヲ望ムヘシ今試ニ平原ト温
度ノ差異ヲ比較スルニ六月三日アラハバッドニ於テハ室内百零
六度室外百六十九度ナリシモシムラニ於テハ七十一度ニ達セシ
ノミ夏季ノ人口大約壹萬六千人ニシテ其十分ノ一ヲ歐人トス而
シテ小生ノ此地ニ達スルヤ十九日ヲ以テ太守ニ謁シ文武ノ縉紳
ヨリハ非常ニ懇切ナル待遇ヲ受ケ廿七日ヨリ日々陸軍省ニ赴テ
目的上ノ調査ニ從事シ此地ニ滞在スルヲ通計四十六日ニシテ大

略ノ要領ヲ得タリ是ニ於テ充分前途ノ目的ヲ定メ七月一日シム
ラヲ發シテアンバラニ出テラホールヲワルビンジーヲ經テ亞富
汗國境ノベシヤワル及ヒコハットニ赴キタリ
ラホール (Lahore) ハアムバラノ西北鐵路百八十七里ノ所ニアリバ
ンジャブ省十州ノ首府ニシテ副總督ノ治所タリ人口拾四万九千
三百六十九人アリテ印度第十三ノ都府ト稱ス且ツ此地ハ兵略上
ノ要点ニシテ鐵路是ヨリ支分シ一ハ二百七十八里ニシテベシヤ
ワルニ達シ一ハ八百二十里ニシテ印度河口ノカラチーニ達ス○
ラホールヲ距ル三里ノ地ニ重鎮アリミヤンミヤート云フラホール
師團本部ノアル所ニシテ十二營所ヲ號令ス其兵數ハ英軍三千五
百九十八人大砲十八門土軍七千九百五十人トス

ラワルピンジ—(Rawalpindi)ハラホールノ西北鐵路百七十里亞富
 汗方面重鎮ノ一ニシテ近年新築ノ堡壘アリラワルピンジ—師團
 ノ本部ヲ置キ輜重廠武庫工場アリテ百般ノ準備篤クヘキ整頓ヲ
 爲セリ而シテ此師團ハ六營所ヲ管シ英軍六千二百一人大砲四
 十八門土軍五千三百十六人ヲ統フ又鐵路是ヨリ支分シテ一ハ
 コハットニ向ヒ印度河ノ左岸ニ通スルヲ以テカイベル峽トコラム
 峽ヲ號令スルノ要衝ト云フヘシ

ベシヤワル(Peshawar)ハラワルピンジ—ノ西北百四里ノ地ニシテ
 亞富汗ノ京城カブル府ヲ距ル僅ニ百九十里カイベル峽ヲ扼スル
 ノ要衝トス古來印度ヲ侵襲セシ者皆ナ此峽路ヨリセリ人口七萬
 九千九百八十二人ニシテ每週一會中央亞細亞ヨリ隊商ノ來ルヲ

例トス人心最モ慄悍ナリ市外シトクノ盛時歐式ニ從テ建築シ
カイベル峽ノ防禦ニ備ヘシ堡壘アリ而シテベシヤワル鎮臺ノ兵數
ハ英軍三千百六十九人大砲六門土軍四千八百七十六人トス
コハット(コハット)ハ印度河ノ左岸鐵路ノ西端ヲ距ル一三十里ニア
リカブル府ノ別道コラム峽ヲ扼スルノ要衝ニシテシークノ盛時
ニ建築セシ堡壘アリ壘下ニ噴泉アリテ清流小川ヲ成シ近傍數里
ヲ灌漑セリ其狀實ニ清國北京玉泉山下ノ噴泉ニ似タリ是レ自然
ニ駐兵ニ便ナル所以ニシテ今土軍山砲兵一中隊城寨砲兵一中隊
騎兵三小隊歩兵三聯隊ヲ配ス殊ニ其シーク第四聯隊ト稱スル土
軍ハ亞當汗ノ役ニ奮鬥セシヲ以テ威名最モ高シ
七月十一日午前六時コハットヲ發シ前路ヲ取リテラホールノ東

三十二里ノアムリツアルニ留マリ夫ヨリル、キーアグラ、ジャイ
 ボール及ヒアジミールヲ經テ同月二十五日午前六時ボンベイ
 ニ到着セリ此行ヲホール以南ハ既ニ雨季ニ達セシヲ以テ黒雲常
 ニ大陽ヲ遮リ驟雨屢降リテ大ニ苦熱ヲ洗ヒ去リタリ然レ光線ハ
 尚ホ酷烈ナルヲ以テ少時モ腦頂ノ防禦ヲ怠ルヲ得ス

アムリツアル(Amritsar)ハシークノ京城タリシ所ニシテ一時ハ印
 度西北ノ強國ナリシカ一千八百四十九年竟ニ英國ノ滅ス所トナ
 リタリシークハ波羅門教ト回々教ノ間ニ生セシ一種ノ宗教ニシ
 テ府内ノ寺院ニ其本尊ヲ安置シ男女ノ崇拜スル者常ニ絡繹タリ
 今人口拾五万一千八百九十六人ニシテ印度第十一ノ都府タリ僅
 ニ歩兵四中隊ト砲兵二十人ノ分遣兵ヲ屯スルノミ府外ニシーク

ノ盛時法朗西人ヲ雇フテ建築セシ堡壘アリ

ル、キー (Kookiee) ハ鐵道幹線ノサハランプル停車場ヨリ支分シテ東行スル一十二里ノ所ニアリ孟加拉工部幹部ノアル所ニシテ電信、橋、船、寫真、印刷等ノ部隊ヲ置キ工場ヲ設ク又有名ノ運河アリガンゼス運河ト名クガンゼス河ノ上流ハルドワールヨリ起テカウンポールニ至ル長サ大約四百餘里最モ壯大ノ工業トス二千八百四十八年ニ起エシ僅ニ六ヶ年間ニシテ落成セリト

アグラ (Agra) ハアムリツアルノ東南四百十五里ニ位シ一タヒモゴール帝ノ都セシ所ニシテ今尚ホ人口十六万人印度第九ノ都府ト稱ス此地殊ニ大理石ヲ以テ建築セシ奇巧巨麗ノ寢陵ヲ以テ最モ著名ナリ又舊皇城ノ宮殿ノ如キモ殿閣宏壯實ニ驚クヘキ建築

トス此地駐屯ノ兵ハ僅ニ砲兵一中隊英軍歩兵一大隊土軍歩兵二
聯隊ノミトス

ジャイポール (Jaipur) ハラジブタナ十九ヶ國中ノ一大國ニシテ
面積壹万五千二百五十方里人口大約百九十九万五千人歳入四
百七十五万「ルピー」年々印度政府ヘノ貢銀四十万「ルピー」トス一
「ルピー」ハ概子我五拾錢ナリジャイポールハ又京城ノ名ニシテアグ
ラノ西百五十里ニアリ輓近駸々トシテ開明ニ赴クノ地ナリ市中
ニ生徒一千數百人ノ英學校アリ都テ國人ヲ以テ教官ト爲シ上級
ノ生徒ハ皆十能ク英語ヲ解セリ其他病院博物館アリ公園ヲ設ケ
毛斯燈ヲ点セリ且ツ此市街ノ如キハ街路井然規模壯麗ニソ土
人ノ市街中蓋シ此右ニ出ルモノナシ國內ノ兵備ハ歩兵一萬五百

人騎兵三千五百三十人砲兵七百六十八人トス又アグラヨリジヤ
イポール及ヒアジュミールヲ經テアーメダバッドニ至ル五百三十
九里ノ間軌キ鐵路ヲ築キ小形ノ列車ヲ用ユ此間丘陵遠近ニ起
伏シ田野ニ多クノ孔雀ヲ見タリ聞ク孔雀ヲ捕ルハ國法ノ禁スル
所ナリト

アジミール (Ajmere) ハラジュブタナ十九ヶ國ノ中央ニ位スル面
積二千七百十一方里ノ英領ニ首府タル所ニメ人口ニ萬七千四
面山ヲ繞ラシモゴール帝ノ古宮湖水ニ望メリ近傍鐵路僅二十
三里ノ地ニウセラバットニ孟買管下ノ重鎮アリ故ニアジュミール
ニハ僅ニ土軍歩兵一大隊ヲ駐スルノミ

ボンベイ (Bombay) ハ印度三都ノ一ニメボンベイ總督ノ治處タ

リ人口七拾七万三千餘人アリ此地亞刺比亞海ニ濱シ歐洲ノ乘
往皆ナ便ヲ此ニ取リ平戰兩時要衝ノ所トス英國海軍ノ勢力強
大ナルニモ係ラス現ニ新ニ砲臺ヲ建築中ナリ英軍砲兵ニ中隊歩
兵一大隊土軍歩兵二大隊ヲ屯ス

ボンベイニ滞在スル一五日間ニシテ七月三十日午前七時三十分
發程雨中ニゴートノ山脈ヲ横斷シ二十五ヶ所ノ「トンチル」ヲ經テ
同日午后二時三十分グリーンナニ達シ此地ニ滞在スル一四日夫ヨリ
セカンデラパッドニ六日間ヲ費シ八月十一日午前六時二十分
マドラスニ到着セリ

グリーンナ (Poona) ハボンベイノ東百十九里ニシテ海面ヲ抜ク一十
八百五十尺氣候頗ル爽快トス此地ハ昔シヘイシヨロ國ノ京城タ

リシ所ニシテ今孟買軍ノ本部ヲ置キ孟買管下第一ノ重鎮トス又
孟買總督ノ別邸アリ毎年避暑ノ所トス人口大約十二萬アリ飲
水ハ水道ヲ以テ府外十里ノ笛湖ニ取ル近傍カルクイーニ小銃彈藥
ノ製造所アリブーナニ英軍歩兵二大隊土軍騎兵一聯隊歩兵三
聯隊ヲ駐シ輜重廠ヲ置キカルクイーニ英軍砲兵四中隊工兵一中
隊土軍歩兵一聯隊工兵三中隊ヲ駐ス

セカンデラバッド (Secunderabad) ハワデーノ停車場ヲ經テブーナヲ
距ル一三百七十八里英軍カハイデラバッドニ對スルノ要衝ニシ
テ兵營十二里ノ間ニ連亘シ印度第一ノ重鎮ト稱ス現今駐防ノ
兵ハ英軍騎兵一聯隊砲兵四中隊歩兵二大隊土軍騎兵一聯隊歩兵
四聯隊ニシテ外ニ駐在官ノ指揮ニ屬スルハイデラバッド徵兵團

ト稱スル一軍隊アリ皆ナ土軍ノ編制ニシテ歩兵六聯隊騎兵四聯隊砲兵四中隊アリ

ハイデラバッド (Hyderabad) ハセカンデラバッドノ南六里ニシテ
 ナイガム領ノ京城タリムーシ河ニ據リ湖水ニ面シ人口三十拾六萬
 餘繞ラスニ城壁ヲ以テシデーカン高原第一ノ都會トス又此國ハ
 印度四百餘ノ諸侯中ニ並フ者ナキ大國ニシテ四面海岸ヲ有セサ
 ルモ其面積ハ大約九万方里人口一千餘萬歲入二千萬〔ルビー〕
 ニシテ四万五千七百餘人ノ兵カアリ其内歩兵六聯隊騎兵四聯隊
 野砲兵四中隊ヲ精練ノ兵トス近年漸々開明ニ赴クノ國トス
 マドラス (Madras) ハ印度三都ノ一ニシテマドラス總督ノ治處ヲ
 リ是ヨリ先キ印度商會ノ起ルヤチャンドラギリーノ國王ヨリ金

三千圓ヲ以テ長サ六里幅一里ノ地ヲ購ヒ市場ヲ設ケ一千六百三十九年一城ヲ築テ商民ノ保護ニ備ヘタリ實ニ英國カ印度ノ地ヲ得タル始ニシテ今ノマドラス市街ノ一部タリ此地ハボンベイヲ距ル七百九十三里ニアリテベンガラ灣ニ面シ人口四拾萬六千餘人アリ輜重廠武庫工場アリ英軍砲兵一中隊歩兵半大隊土軍歩兵二聯隊ヲ屯ス

マドラスニ滞在スルヲ僅ニ三日ニシテ八月十三日午後五時四十分全所ヲ發シ夫ヨリバンガロール、マイソール、セリンガバタム、ヲ一タカマンド、トリチノポリー、マドラヲ巡回シテ同二十七日印度ノ南端ツチコリン港ニ出タリ

バンガロール (Bangalore) ハマイソール國內ノ大都會ニシテマド

ラス軍下ノ重鎮ヲ置キ工兵幹部輜重廠ヲ置ク此地ハマドラスノ西百三十二里ニアリテ海面ヲ抜ク一三千尺氣候最モ健康ニ通シマイソール國王ノ離宮アリ人口大約十四万トス

マイソール (Mysore) ハマイソール國ノ京城ニシテバンガロールノ西八十五里ニアリ人口大約五万七千五宮アリ學校アリ氣候頗ル清涼ノ地トス宮中純金ノ玉座象牙ノ開キ戸等アリ又樓閣ノ建築壯麗ナラスト雖氏頗ル印度ノ古風ヲ想像スルニ足レリ

セリンガパタム (Serinapatam) ハマイソールノ東九里ノ地ニシテバンガロールニ通スル鉄道ノ經ル所トス此地ハ最モ著名ノ古戰場ニシテハイデルアリー及ヒチッブー支丹カヴァリー河中ノ小嶋ニ歐式ノ堅城ヲ築キ法國將校ヲ聘シ三軍ヲ演練シ南印度諸州ヲ蹂

躡シ屢、英軍ト戦テ屢、之ヲ破リシカ一千七百九十九年竟ニ英軍ノ拔ク所トナリテ支丹亂軍ノ内ニ死シタリ島内支丹ノ陵墓及ヒ壁ニ英軍大敗ノ有様ヲ畫シ支丹ノ古宮アリ又英軍奮撃城内ニ突入セシ突角ノ如キハ最モ當時ヲ回想スルニ足レリ○マイソールハ南印度ノ一大國ニシテ面積二万七千七百度四境海岸ヲ有セス人口四百十八万六千三百九十九人アリ一千八百七十六年ヨリ八年ニ至ル三ヶ年間最モ酷烈ナル饑饉アリテ道路ニ餓死スル者人口百分ノ十七ニ達セリ故二十ヶ年前ノ人口ニ比スレハ非常ノ減少ト云フヘシ

ヲ、タカマンド (Ootacamund) ハ西岸ガートノ山脈ヨリ東ニ向テ支分セシ子ルギリー山間ノ地ニシテ海面ヲ抜ク一七千二百二十八

尺南ニ下ル₁三十里ニシテ鉄道アリ東岸マドラスニ至ル三百二十七里西岸ベイポールニ至ル百十四里トス且ツ此地ハ氣候最モ温和ニシテ形勢甚タ急峻ナラス溪間佳景ノ湖水アリ馬德拉總督夏月此ニ駐スルヲ例トス總督官邸ノ傍ラニ聳ルヲドグベッタ峯ト名ク海面ヲ抜ク₁八千六百四十餘尺ニシテ南印度第一ノ高峯トス此峯頂ニ登リテ北望スレハ遙ニマイソールノ高原ヲ見南顧スレハ南印度ノ熱地ヲ望ミ頗ル壯觀タリ

トリチノポリー (Trichinopoly) ハエロード停車場ノ東南八十七里ニアリテカヴヱリー河ニ濱スエロードハマドラスノ西南二百四十八里ニシテ之ヨリ以南ヲ南印度鐵道會社ノ線路トス軌缺ノ間狹隘ニシテ小形ノ列車ヲ用ユ此地ハ南印度中史乘ニ最モ著名ナ

ル古戰場ニシテ屢英法兩軍ノ争ヒシ所ナリ人口七萬六千令鐵兵
一大隊ヲ屯ス市中河岸ニ一塊ノ巨巖アリ高サ三百七十三尺巖石
ノ上下ニ巨大ノ殿堂ヲ建築セリ此頂上ニ登レハ數十里間一眸ノ
内ニアリテ頗ル絶景トス府南田野ニ一ノ岩石アリ法岩ト名ク法
兵敗走ノ所トス又河中ニ一ノ嶋嶼アリセリンガムト云フ巨大ナ
ル破羅門宗ノ寺觀アリ金像金器ヲ藏ス其價大約二百五十萬圓ニ
過クト又此地ハ印度全國中一年間ノ溫度ヲ平均スル時ハ最モ酷
熱ノ地方ニシテ八十二度七ニ達セリムルタンノ如キハ夏月第二
ノ熱地ト稱シ恰モ釜中ニアルカ如キ由ナレト一ケ年ノ平均溫度
ハ七十六度ニ過キス冬季ハ大ニ冷涼ナリト
マドラ (Madura) ハ一千八百一年マテ南印度一王國ノ京城タリシ

所ニシテ人口五萬二千アリマドラスノ南三百四十四里ニシテツ
チコリン港ヲ距ル九十八里トス古ヘノ王宮ハ今裁判所タリ又巨
大ノ寺觀及ヒ湖水アリ最モ著名ノ所トス

ツチコリンハ印度南端ノ海港ニシテ斜メニセーロンノコロシボ
港ト相對シ相去ル僅二百四十九海里トス人口一万一千アリ南印
度鐵道ノ極端ニシテボンベイ、カルカッタ間定期航海漁船ノ寄泊
スル所ナリ海底淺キヲ以テ漁船ハ岸頭ヲ去ルヲ大約十海里ノ所
ニ投錨セリ

八月二十七日午后四時三十分投錨針路ヲ東南ニ取リ其翌二十八
日午前十一時コロシボ港ニ到着セリ

コロシボハセーロン全島ノ首府ニシテ人口大約十萬總督ノ治處

タリ英軍歩兵一大隊砲兵二中隊ヲ砲シカンデーニ歩兵二中隊ト
ガール角ニ一中隊ヲ分遣ス且ツ此地ハ東西兩岸ノ間ヲ往來スル
船艦ノ寄泊スル所ニシテ巨大ノ突堤ヲ築テ怒濤ヲ防禦セル人造
ノ港ナリ

セーロンハ印度大陸ト僅ニ四十里ヲ距ル一大島ニシテ長サ二百
六十六里廣サ百四十里人口二百六十三萬八千餘人アリ印度大陸
ニ於テハ釋氏ノ宗教幾ト消滅ノ姿ナリト雖モセーロンハ今尚ホ
盛ニシテ此教ヲ信向スル者大約百五十萬人アリ歲入ハ七百五
十萬圓ニシテ貿易ノ價額ハ概テ五千萬圓ニ過クト茶園ハ近年ノ
開墾ニ係ルト雖モ地質ニ適當スルヲ以テ繁殖頗ル速カナリ
海面ヲ抜ク一數百尺ヨリ六千尺ノ高サニ至ルマテ能ク茶園ニ適

五百十

2396

嘗スト云フ一千八百七十三年ニハ僅ニ二百五十「エークル」ノ茶園
 アルノミナリシカ十年間ニ増シテ三萬五千「エークル」トナリ一千
 八百七十六年ニハ僅ニ製茶二十三磅ヲ輸出セシノミナリシカ遂
 ニ増シテ百五十二萬二千八百八十二磅ヲ輸出スルニ至レリ其他
 頗ル物産ニ富ミ耕夫園丁等ノ需用多キヲ以テ島民甚タ生活ニ易
 ク一家族一週間ノ利得二圓乃至三圓ニ至ルヲアリト今官報ニ就
 テ南印度一千六百萬ノ農利ヲ見ルニ平均一家五口ニシテ一年
 間ノ利得僅ニ十八圓ニ過キスト實ニ其差ノ非常ナルヲ見ルヘシ
 島内山中著名ノ地ヲカンデート云フ古ヘ京城ヲ置シ所ニシテ有
 名ノ寺觀アリ釋氏ノ齒ヲ以テ靈物トス湖水アリ空氣頗ル清涼ニ
 シテ總督避暑ノ所トス鐵道アリ長サ七十五里コロンボヨリ四時

間ニシテ達スヘシ又島ノ東岸ニ軍港アリトリコマレト云フ英國印度艦隊ノ根據ニシテ頗ル良港ナルヨシ

九月二日午后九時三十分法國郵船ニ搭シテ此地ヲ發シ一千六百海里ヲ六日間ニ航シテ八日午前七時三十分シンガポールニ着シ同日午后五時拔錨六百四十七海里ニシテサイゴンニ寄港シ又九百四十海里ニシテ香港ニ到着シ横濱行ノ漁船ニ移リ更ニ一千三百八十六海里ニシテ神戸ニ寄港シ同月廿五日横濱ニ上陸歸朝セリ

以上陳ル所之ヲ經歷ノ大略トス此間通計百八十三日ニノ印度ノ大陸ニ在ル七百二十二日陸路旅行ノ行程大約四千餘里目的ノ事項ヲ研究スル爲メ多少ノ時日滞在セシ場所二十九ヶ所ニ及ヘリ

陸軍沿革

東印度高會カ印度ヲ支配セシ時既ニ歐軍及ヒ土軍ノ多數ヲ養ヒ
タリ而シテ當時ノ歐軍ハ希望者ヲ徵集シテ編制シ特ニ印度ノ兵
役ニ充タル者ニテ英國常備軍ノ外タリ

一千八百四十七年前ニ在テハ壯兵ノ服役期限ヲ十七年トシ再役
ヲ請願スル者アレハ檢査ノ後チ更ニ五年ノ兵役ヲ許シ五十一ルビ
一ノ増給ヲ與ヘタリ

一千八百四十七年後ハ服役期限ヲ改テ歩兵ヲ十年トシ騎兵及ヒ
砲兵ヲ十二年トシ滿期ノ後尚ホ十二年ノ再役ヲ許シタリ是ニ於
テ更ニ希望者ヲ増加シ從テ善良ノ壯兵ヲ採用スルヲ得タルニヨ
リ毎戰能ク其功ヲ奏シ殊ニ一千八百五十七年土兵叛亂ノ時ノ如

キハ常ニ其衝ニ當テ威名ヲ遠近ニ轟シタリ

幅員人口

印度全國及ヒ英領下部緬甸ノ幅員合計壹百四十九萬五千五百七十四方里ニシテ人口ニ億五千三百八十六萬六千二百五十四人トス今之ヲ英領葡領法領及ヒ諸侯ノ藩圖ニ區別スル時ハ則チ左ノ如シ

英領十二省

幅員 八拾八萬七千九百六十九方里

人口 一億九千八百四十四萬一千五百十二人

諸侯領土

幅員 六拾萬七千六百三十六方里

人口 五千四百五十六萬七千七百十六人

葡領

幅員 一千八百六方里

人口 四十四萬四千九百八十七人

法領

幅員 百七十八方里

人口 二十八萬三百八十一人

此幅員ハ魯西亞ヲ除キタル歐羅巴全洲ニ均シク又我日本帝國ノ十倍ナリ而シテ此人口ハ一千八百八十一年ノ調査ニシテ十年前ニ比スレハ大約一千餘萬人ノ増加トス
今印度ニ駐スル英人ノ總數ヲ見ルニ僅ニ十二萬八千百五十四人

ニシテ英軍六萬餘人モ亦タ此内ニアリトス故ニ之ヲ土人ノ人口
ニ比較スレハ英人一人ニ土人二千人ノ割合ニシテ又英兵一人ニ
土人四千人ノ比例ナリ嗚呼印度政府ハ斯ノ如キ寡少ノ兵力ヲ
以テ内ハ面積百五十万方里人口二億五千萬人歳入三億六千萬
圓ノ大國ヲ統御シ外ハ強隣ニ境シテ常ニ進取ノ計畫ヲ爲ス其規
摸實ニ盛ナリト云フヘシ

(未完)